

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
|------|--|

2016年度 立命館大学大学院  
スポーツ健康科学研究科【博士課程前期課程】  
入学試験問題

筆記試験 論述

| 試 験 時 間             |
|---------------------|
| 11:00 ～ 12:00 (60分) |

2016年2月13日 (土)

《注意事項》

1. 配布された全ての用紙の所定欄に受験番号を記入すること。
2. 解答は日本語を用い、答案用紙に横書きで記入すること。
3. 答案用紙の問題番号選択欄に、必ず○をつけること。
4. 答案用紙は、計2枚。
5. 試験終了後、配布した問題用紙等は全て回収する。

次の(1)～(4)の問題のうち、(1)・(2)から1問、(3)・(4)から1問の、計2問を選択し、それぞれ指定の答案用紙に解答しなさい。【50点×2問＝計100点】

- (1) 筋の力発揮特性の、カー長さ関係とカー速さ関係についてそれぞれ説明しなさい。それを踏まえて筋のパワー発揮(筋張力と収縮速度の積)が最大になるのはどの様な条件が満たされた時か、論述しなさい。  
※必要に応じて図を用いても良い。
- (2) 骨の健康とカルシウム摂取の関係について、カルシウムの吸収に関与する因子を具体的に挙げて論述しなさい。
- (3) スポーツ指導者が獲得すべき知識について、具体例を含めて論述しなさい。
- (4) スポーツ組織における指導者の役割とその効果について、リーダーシップの観点から論述しなさい。

以上